

白山 Geopark だより

松任小学校3年4組

2026. 7. 8

早いもので、3年生が始まり3か月ちょっとが過ぎました。あらためまして、担任の加藤です。日頃からのご協力はもちろんのこと、先日の授業参観にアンケートのご回答といつもありがとうございます。

さて、3年4組では【ふるさと白山市】への関心を高めるため、1学期中にいくつかの見学を実施してきました。その意図や活動の様子等についてお伝えし、今後の活動につながるサポートをお願いできればと考えています。お時間にもものすご〜く余裕のあるときでかまいませんので、ご一読ください📖👤

【5/7 ① 日本海（徳光海岸）】



バスでさえ15分もあれば到着できちゃうところに海があります。大変身近ではありますが、校区外のため意外と認知されていないようで、サンダル短パンで「イエ〜イ♥！」なノリでした♪道中は、地図の学習も兼ねて右折や左折の度に東西南北を確認したり、土地の使われ方（平地 → 住宅やお店、田植え作業前・作業中・作業後の水田に畑、蕪城小学校に北星中学校、🌳で囲まれたところには神社仏閣が……🏯あった〜！）や地図記号（を体で表現👤）を確認したりと、教室での座学を座学のままで終わらせないよう五感をフルに活用して現実とのリンクを体感！なんとともラッキーなことに、アンダーパスに差ししかかったタイミングで真上を北陸新幹線🚅が通過！「わぁ〜♥！」と大盛況♪

そんなこんなであっという間に徳光海岸に到着。バスを降りたら歩道橋（ラブリッジまっとう）へ！さわやかな風と淡く青い空、南にはくっきり白山、北にはキラキラ輝く日本海、真下にはビュンビュン車が行き交う北陸自動車道（高速道路は海沿い👉）、白山市の自然についても、交通についても一度に体感できるオススメのスポット！階段を下り、トンネル（高速の下）をくぐれば……♥♥♥♥♥



解放感いっぱいの日本海がお出迎え🌟「うお〜♥&キャ〜♥！」で興奮度は最高潮！……も束の間、「えっ👀」……、「何あれ？👀」……、「ゴミじゃね？👀」……、「多くない？👀」……、「ええ〜っ👀♥」……、「なんでえ〜っ👀♥♥♥♥」……👀いい目をしているし、現実を目の当たりにしてちゃ〜んと心が動いています😊「ゴミなんかどこにあるいや〜？👤」、「いや、いや、いや、いっぱいあるし！👤👤」、「どこにいや〜？👤」、「ここ〜👤👤👤（写真📷）」、「あら、ホント……。どうしたい？👤」、「拾って集めたい！👤👤」、「ええっ、海を見に来るだけだからゴミ袋なんか持って来て……たわ、こんなにもたくさん👤👤」、「よ〜し、集めてやる〜！🔥👤👤🔥」こうして、日本海の見学はしばし『Clean beach🌊徳光』になったのでした😊



落ちていたゴミを拾い集めながら砂浜を歩いて行くと、なんと心地よい波音が聴こえてきます🌊「うお〜♥&キャ〜♥！」(再)なのに、しっかりと指示を守って波うち際には近づきません🚫🌊安全の確保は常に最重要項目なのですが、集団で行動する際、しかも、大人とちがいがちがちな子どもたちの場合は特

に気をつけなければいけません。些細なことでも大事に至るし、取り返しがつきません。細心の注意を払って指示を出すわけですが、子どもたち（一人でも）にその気がなければ簡単に危険にさらされます、みんなが……。どんなに口を酸っぱくして言い聞かせていても、衝動的に行動してしまうことはままあります。そこまで想定して活動に入るか否かを判断するので、しっかりと指示を守って行動できると信頼できる → 信頼できるから活動の幅を広げられる → 活動の幅を広げられるからよりよい学びにつながる。非常に大事なポイントです。このような信頼関係は、いざ！というときに急に築けるものではありませんので、日々の学校生活の中でのひとつひとつのやりとりを通じて築いていくわけ。保護者の皆様とお子様たちが何年かかけて生活を共にし、築き上げてこられた確固たる信頼関係を、（4月に）ぽっと出の学級担任が最長1年間で築いていくわけ。それも、30人と。しかも、当然のことですが、出会ったばかりの1日目から危険は伴っています。安全を確保するためには的確な指示が必須だし、その指示を理解してもらい行動してもらってこそです。単に『先生の言いなりになる都合のよい子どもたち』にしたいわけではありませんので、その辺りをご理解いただき、ご家庭でもお声がけいただけると幸いです。どうぞよろしくお願いいたします🙏

無事に活動できることは当たり前のように感じて当たり前ではない、ひとりひとりが意識をして行動してくれているおかげ、本当にありがたいことです🌟「安全に気をつけて、少しだけ、くるぶしまでなら水に入ってもいいよ〜👤」と次の指示を出した途端に、波打ち際に子どもたちの歓声と笑顔がはじけます🌟海をバックによく映えます♪浜辺に横たわる流木について思いをめぐらせ、「何、この変な石？👤👤」というテトラポッドに腰かけ休憩しているときに……

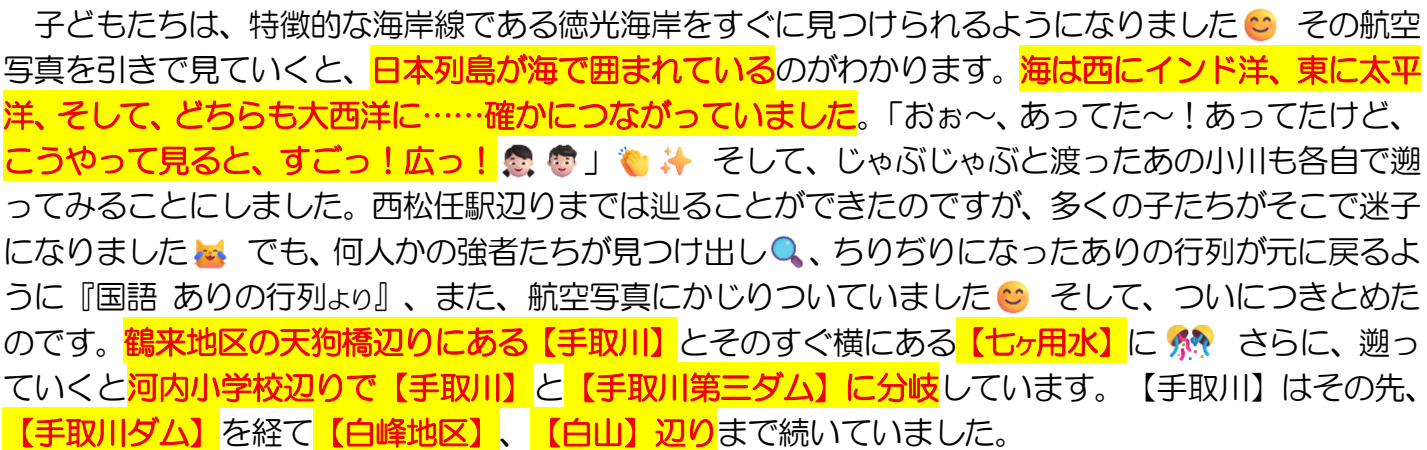


「海の水、多い？少ない？👤」と問うと、「多い！めっちゃ多い！👤👤」と口をそろえて答えます。「こんなにたくさんの水、どこから来てんのかなあ？👤」の問いには少し考えて、「雨！👤👤」とか、「他の海！海って外国とつながってんよ👤」とか、「流木といっしょに川から流れてきた！👤」とかみんな思い思いに答えます。「え〜、今日は雨降ってないよお？外国からって、そんな遠くから来てるってすごいなあ！川っ！？川なんてどこにあるよ〜？👤」と反応すると、「そこ〜👉！！👤👤」指差す方に目をやると、すぐそばには海に流れ出す小川があるではありませんか！👉？なんと都合のよい展開😊「見に行ってみる？👤」とみんなで小川に近づいてみると、これまた都合よく渡れそうな深さではありませんか！👤👤「渡ってみる？👤」との問いに、「えっ、いいん？危なくない……？👤👤」とちゃんと安全への意識が働いています👏その場のノリだけで後先を考えない子たちではありません。この子たちなら大丈夫！次の活動に入れそうです👍「渡れそうな浅いところを探してくるわ！👤」「ええっ、先生大丈夫なん？気をつけてや！👤👤👤」……「うん、ここを通れば大丈夫！短パンを少し上げて、指示があったら一人ずつおいで！はい、つかまって〜！👤」「キャー、冷たい👤👤」みんな、ほぼ指示どおりの行動をとることができ、無事に渡りきれました！アレ👤を除いては……👤



事前に何度か調査に訪れ、直前にも天気や水位を確認していたので安全性への不安はありませんでした。この子たちがしっかりと指示に沿って動けるかどうか、ただそれだけが可否のポイントでした😊「海、見に行っか！👤」と軽いノリで連れて来たのは、『先生が教える』のではなく『子どもたちが自ら感じとる👤』ことを重視しているから。たくさんの準備をしても、状況によっては提供しないことが多々あります。でも、今回の見学は感じとる機会をほぼすべて提供できたんじゃないかな〜🌟（近場の海・砂浜のプラゴミ・波の力とサンダル👣・海の水はどこから？・テトラポッド・海に流れ出す川・海と川の水温のちがひ・足の砂の取り方👣等）

前回の見学で考えた『海の水はどこから?』をタブレット (Google マップ) で調べてみました。



決めたのはいいんですけど、ちょっと頭を悩ませる心配事が……。ここ数年、全国各地で出没の話題が絶えない🐻さんです。河内地区での出没情報も回ってきていました……どうしましょ🌊海の時のように、自分たちがしっかりしてさえいれば安全は確保できるというものではありません。まあ、やれるだけのことはやって、それでも**危ないようにならバスの車内からの見学**だ……と、クマ鈴、Bluetooth 接続のスピーカー（爆竹音）、さすまた、ネットランチャー（×2）を準備し、クマと遭遇したときの対処法について子どもたちと【ごっこ（訓練）】をして備えました。野生のクマ（他にも🐼🐾🐾🐾…）を相手に、さすまたって……**全員の安全を確保することの難しさ**を痛感しました。自然の脅威の前では、人は本当に無力（微力）です🙏

6/9は雨あがりの曇天🌩️、山の天気は……微妙。予備日の6/11(予報は🌤️)に延期することで、河内小学校(当日は行事)の子たちとの交流は限定されますが、憂いはいつでも少ないほうがよいですからね😊

前回同様に、**道中は車窓から見えるものを確認したり考えたり！見学のパターンが徐々に定着**してきました。「今、走っているのは数字3つの道路です👤」、「157号線！👤👤」、「北に進むと？👤」、「8号線！👤コストコ～！👤」、「南に進むと？👤」、「エビフライのしっぽの付け根！👤鶴来地区！👤白山！👤👤」、「しっぽの付け根ということは？👤」、「山の出入口！うわ～、山、近っ！👤👤」、「左前に見えるのが九九っぽい所の……👤」、「獅子吼っ！👤四九36♪👤」、「右に見えてきたのが……👤」、「草～👤えっ、待って、これ、手取川じゃね？👤」って感じて到着～🚗🌈



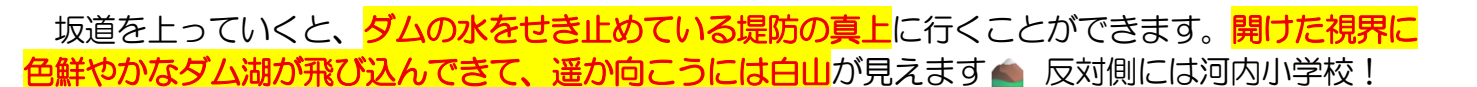
両手にはさすまとネットランチャーとデジカメ、腰にはクマ鈴♪、背中スピーカーからは大音量……
 みんなの安全を守る偉い人👦?の見た目は、相当エライ人に仕上がりました……いや、いや、安全第一!ですから👉
 まずは、七ヶ用水……「水の量は?流れの速さは?深さは?👦」、「多い!速い!深そう……👦👦」
 次いで、手取川……「水の量は?流れの速さは?深さは?👦」、「全然ちが〜う!少ない!遅い!浅
 い!底が見えている!👦👦」、「石の様子は?👦」、「大きい!ゴツゴツ!👦👦」とお恥ずかしい

道の駅『しらやまさん』でトイレ休憩をとった後、バスは『エビフライの美味しい身の部分』お山ゾーンに突入していきます。右手には手取川を挟んで土砂崩れからの復興を目指す工事の様子、左手には山、山、山！ 坂を上ったところでスノーシェッドに入ります。（数年前には二ホンカモシカが横たわっていました！?）

抜けると……前方、丘の上には河内小学校、左手には手取川第三ダムと口直海の集落が見えてきました。丘を上り河内小学校の駐車場にバスを止めさせていただき、みんなバスから降ります。職員室から声をかけてくださった方々にお礼を伝え、さぁ、行くか！と背中スピーカーから大音量が流れ出した頃、ちょうど長休みに入ったところの河内小学校の6年生と5年生が玄関まで出てきてくれました♪ 向こうの全校児童数と3年4組の児童数が同じということに子どもたちは驚くも、初めて会ったということを感じさせない距離感でパチリ🌟 縁を感じるステキな記念写真が撮れました。では、ダムへ！



河内小学校から坂を下って直海谷橋（のみだにばし）を渡り、口直海（くちのみ）の集落を散策します。涼しげな音を立てて流れる山水、絶対気持ちいいにちがいありません🌟 清流に触れ、首筋を冷やすと超ひんやり♪ 顔も洗ってシャキーン！💦 **この水が、海で渡った川の水になっている**かと思うと感慨深いです。家の軒下に目をやるとバスケットボール……、いや、ちょっとしたゴミ袋ほどの大きさのハチの巣がぶら下がっています。松任ではなかなか見かけないサイズにみんな大興奮！さらに歩いて行くと、向こうから駐在さん👮がやってきます。「おつかれさまで〜す！🐻、出てますか？👤」、「この辺は大丈夫ですよ〜！👮」とさすまたを持ってうろついている男にも優しく対応してくださいました。ハチの巣の次は龍🐉が姿を現しました！蔵の守り神ですかね。そうこうしているうちにダムが見えてきました。橋の下を見下ろすと、澄んだ水の中に大きな魚の姿が🐟……まさに、**自然のアトラクション♪** 残念ながらこのときダムの水の放流はしていませんでしたが、これだけ間近だときっと大迫力ですね！



陽射しを浴びると暑いですが、木陰に入るとひんやり涼しいです。🐼 さえ出てこなければ、最高のロケーションを楽しむことができ、お弁当を持ってきて大自然の中でゆっくり味わうというのもオススメ！

ダムの水を流すための送水管を輪切りにしたものの前で記念撮影📷 その大きさにビックリです！

そろそろ出発の時刻……坂道を下って河内小学校に向かう途中にラジコンカーのコースがあり、お茶を飲みながらしばし見物🍷🍷🍷……河内小学校に入る上り坂のところで、『第1回 坂道かけっこ競走』を開催しました。ゴールの位置を間違え(聞いていないな😅)、ずっと走り続ける子が何人かいましたが、みんなケガなくゴール！無事に駐車場に到着できました。バスに乗り込む前にみんなに見せたいものがありました。それがコレ👉 松任小学校にもいる二宮さんのお隣に、なんと桃太郎🍑 & 🐵🐔🐸の像が！



なぜ、ここに桃太郎が？いつから？真相はナゾのままですが、冬場は雪に埋もれることもあります🐧 余談ですが、河内小学校の二宮さんはシュッとしていますが、松任小学校の二宮さんはぽっちゃりめです。起伏に富んだ河内と平坦な松任、生活環境への適応の結果？ちょっと興味深い『ちがい』でした。

河内小学校を出発後、少し遠回りをして手取川の上を二度多く渡ることのできる鳥越ルートを選択！獅子吼高原を優雅に飛ぶパラグライダーを車窓から数えながらの帰路もなかなかのものでしたよ！

(海の水はどこから？・航空写真・天狗橋・手取川・セキ用水・手取川とセキ用水のちがい・平地と山地・獅子吼高原・饒来地区・河内地区・山の水・ダム等)



【6/17 ③ 手取川ダム・白峰地区(砂防科学館、街並み散策、白峰温泉総湯)】

徳光海岸の海や川の水をきっかけに、『白山市ってどんなところ……？』について調べたり、体感したりしてきましたが、いよいよ南端の白峰地区までやってきました。見学前に調べた情報では、「よくわからんけど、まんじゅうがあるらしい🍡」、「よくわからんけど、毎年2月に雪だるまが……👶」、「よくわからんけど、恐竜パークがあるらしいよ🦖」、「なにかわからんけど、砂防科学館ってのがあらしい👶」、「なんのことかよくわからんけど、百万貫の岩らしい……👶」……こんな感じでした。もう少ししっかりと調べる力をつけていきたいところではありますが、まあ、それはおいおい。『百聞は一見に如かず』、Go～！🚗👨👩👧👦🏠

河内小学校までの道のりは一週間前とほぼ同じなので、車内での問題もスラスラ自信満々ノリノリ♪ 短い期間における反復練習の効果を見た気がします🐼 (漢字もきっと同じだぞ👉) さて、河内小学校を左手に見て、坂道を右にカーブしながら下っていくと個人的に大好きな眺めが現れます🌟 右手には赤レンガ造りの発電所、その手前には直角にうねる手取川の涼やかな流れ、もうサイコー🥰 でも、右手ばかりに見惚れていたら見逃してしまうのが、左手の焦げ茶色の大きな三連ストロー！ダム湖からの送水管ですかね、発電所に突き刺さっているようです。坂道を下りきった横断歩道の左手に集会所があり、車を停めることができます。ご家族で行かれるときは車から降りて、少し戻りますが歩いてみるとゆっくりと見ることができますよ😊 今ではなかなか想像できませんが、その昔、手取川が『暴れ川』と呼ばれ何度も氾濫を繰り返していた頃、赤レンガ造りの発電所のいちばん上の窓のところまで水に浸かった(河内福岡地区在住 M さんのお話) そうですよ👨👩👧👦 歩道を歩いてみると、発電所の下から上まで眺めることができますが、なかなかの高さであることが感じられます👉 美しい眺めに隠された驚愕のエピソードの後にはちょっとほっこりまったり、【河内じばさん】で蕎麦ソフトクリームでもいかがですか😊 歩いてすぐのところにありますし、👉 を食べながら歩いて車を停めた集会所までお散歩すればちょうどなくなるくらいかもしれませんよ♪

【河内じばさん】には手作りの豆腐やあげもあり、堅豆腐はお刺身で、厚揚げはカリッと焼いて食べるのが好きです🍷 また、おからを使った【じば団子】や【おからコロッケ】などの健康的でほったの奥のほうで旨味を感じられるお惣菜もありますよ😊 地物野菜やお米もあり、楽しいところです♪ 水曜日が定休日になりますので、夏休み中に行かれる場合はお気をつけください！



山地の平野部らしく、集落と水田が広がるのどかな一本道をバスはま～っすぐに進んでいきます。直線の終わり頃、坂を上る手前の右手には手取川があり、夫婦岩(めおといわ)とメガネ岩があります(📍あり)。坂

を上った左手にはめもと岩温泉ラクヨウ🔥、右手には藤棚がキレイ(5月)な吉岡園地(📍📍📍📍あり)、手取川を挟んだ対岸(鳥越地区)には広大な敷地に楽しそうな遊具🎡がいっぱいの河合・下野園地(📍📍📍あり)と盛りだくさんです！しばらく進んで集落を抜けた辺りの左手に、大量のタヌキ🦨が旅の安全を見守ってくれているところがあります🌟 この日は、行きは数匹、帰りは大量発生でした😅 スノーシェッドを抜けた右手には白山吉野オートキャンプ場(吉野谷地区)があり、しばらく進んだ左手にある吉野工芸の里(📍📍📍あり)では樹齢約700年の国指定天然記念物【御仏供杉(おほやすぎ)】に出会えます🌟🌲🌟 時間的な制限があるため今回は近寄れていませんが、さっきからずっと右側に手取川と鳥越地区があります。小回りの利く乗用車&家族旅なら、ぜひ手取峡谷にも寄ってみてください。一年を通じて、四季折々の絶景が堪能

できますよ🌟 ジオパークをよりお手軽に楽しめるよう、無料📍完備で説明書きが設置されているところも多いです。『勝手にスタンプラリー！』を開催して、コンプリート目指して親子でお出かけするのも楽しそうですね👨👩👧👦 私は未活用ですが、『ぼけっとジオ』なる無料のWeb 地図サービスがあるようです。

吉野工芸の里を過ぎ、しばらく行ったところの左手にあるグラウンド🏀と白山ろく体育館も過ぎた辺り、左手に焦げ茶色の大きなストローと右手にチラッと赤レンガ造りの建物が見えます！先ほどの河内地区のは北陸電力(株)福岡第一発電所(1911年)でしたが、こちらは同・吉野第一発電所(1921年)。どちらも100年以上の歴史があるステキな建造物ですが、見やすさという点では河内のほうが見やすいかもしれませんね。さらに進むと左カーブがあり、📍吉野郵便局の手前を右折すると不老峡(📍あり)です。橋の上から見下ろすと……行ったことのない方にネタばれ配慮で(🔒(言いたい！見せたい！😅))にしておきますが、私はかなりお気に入り何度でも立ち寄ってしまうほどです😊 今回の見学では、車内で紹介しただけで行っていませんのでオススメです！見下ろす際は、落ちないように十分に気をつけてくださいね⚠️

しばらく進んだ白山すぎのご温泉(現在臨時休業中 再開時期は未定)辺りは、私が小学生だった頃なので40年以上前ですが、夏休みの真夜中によく父親に連れて行ってもらった思い出の場所です。シーンとした静けさの中、夜露でちょっと湿った感じの空気に包まれ👨、私たち親子だけが動いている……懐中電灯とお菓子の空き箱を手に、白や橙の街灯の下を次から次へと。帰り道の車内、お菓子の空き箱の中で響くカサカサ♪という音に満足して眠りにつく……この非日常的なドキドキワクワク感は、子どもだった私の脳裏に強烈に焼きつけられました。自動車免許を取った際には自分で運転して、現在は営業していない白山中宮温泉スキー場辺りまで広く深夜徘徊に向かったほどです。(父親を連れて行くことはありませんでしたが、弟と行くことはありました、カプトムシ・クワガタ獲りに😊) 加藤少年が加藤先生になっても行っていた、夏のよい思い出のひとつです🌟



ふじが丘集会所

河内じばさん

すぎのご温泉

長い坂を上って下りると思い出の吉野谷地区も終わりを迎え、濁澄橋を渡ると尾口地区に入ります。崖下左手には尾添川、右手には手取川との合流点、右手奥にはステキな造りの白嶺小中学校を見ることができます。少し進んだ右手の山の上には、6年生が宿泊体験学習(合宿)をする石川県立白山ろく少年自然の家、その裏手には手取川第二ダムがあります。【豆乳🥛、加賀棒茶🍵、珈琲🍵、煮豆】どれもオススメの『道の駅 瀬女(せな)』(📍📍📍📍あり)でトイレ休憩をして、瀬女トンネルを抜けると……眼前には、空に架かる女原橋(おなばらばし)が広がります。「あの橋、今から渡るよ～😊」、「ええ～👨👩👧👦

キャー👧」、「お行儀よく座っていないと、身を乗り出して見ているとバスが傾いて落ちるぞ〜！（そんなことある？）👧」、「はいっ！👧わかった！👧」、「えっ！？👧」……なんと素直でかわいらしい😊曲がりくねった道が増えてきましたが、みんな、車酔いのほうは大丈夫のようでー安心🍀 オレンジ色の灯りが綺麗なトンネルを抜けると尾口地区もそろそろ終盤、**左手にはとんでもない数の石や岩を積み上げた巨大な壁**が姿を現します。手取川ダム、**日本最大級のロックフィル式ダム**【コンクリートを使わず中央から土・砂れき、岩石をつみあげて造られています。（白山市公式観光サイト『うらら白山人』より引用）】です！バスを止め、下車して、わずかな時間ですが見ることができました。写真や動画もよいですが、やはり実物はちがいますね。ただ、**今回はほんの少しの時間でしたので、ぜひ、ご家族でゆっくり、じっくりとご覧になってください😊**

さあ、いよいよ白峰地区に突入！左手には手取湖が見えます。バスで走っているのに、ずいぶんと長い間お隣にありました。帰り道に子どもたちと計時したところ、１０分間でした。太陽の光を浴びて水面がキラキラしています。周囲の景色も本当に美しいです。そんな手取湖ですが、約５０年ほど前、ダムを建設するにあたり湖の底に沈むことになった集落（旧白峰村桑島地区、旧尾口村深瀬地区など６つ）がありました。少し離れた土地や遠く離れた金沢市などに移り住まわれたり、集団で鶴来地区（地名を残して新しく作られた桑島町、深瀬新町）に移り住まわれたりした方々がいらっしゃったことを子どもたちに伝えました。**自分たちの慣れ親しんだ家や学校、街並みがなくなってしまうこと、ご近所のなかよしの子たちと離ればなれになってしまうこと**などを想像して残念そうにしている子がいました。「暴れ川だった頃の手取川による多くの犠牲者、被害といった悲しい歴史を繰り返してはいけない」という思い、もともと住まわれていた方々の「これまでどおりの生活がしたい」という思い、どちらも理解はできるし大切にしたいところです。難しい決断だったことでしょう。**安心と安全があたりまえのようにある今のわたしたちの生活は、このような過去の出来事によって成り立っている**ということ、美しい手取湖を見て感じました。**歴史や経緯、当事者双方の意図や思いを知ることの大切さ**、いろいろと深いです、白峰っ……！



白峰村国営水路

明谷橋

バスは白峰の街中へ向かって進みます。白峰小学校を通り過ぎて行くと……**!?** なんと、空から水が降り注いでいます。「何、コレ〜〜〜！👧👧」、「なんだろうね〜？気になったら……👧」、「調べるっ！👧👧」、「おお〜、またひとつ賢くなっちゃうね〜👧」……私がさっと答えることで子どもたちのモヤモヤは一気にスッキリします。でも、スッキリさせることが私の役割ではありません。スッキリするためにどう考え、どう動いたらよりよいのかということ子どもたちひとりひとりに体得させることが私の役割。ゆくゆくは自分でできるように、自分『たち』でできるように、というのが周囲の大人の願いであり、その実現のために子どもに寄り添うのが大人の役割だと考えています。厳しさという優しさで接していく役割を私が担いますので、優しさという優しさ（無償の愛）で温かく包み込んでいく役割をご家庭にお任せします。この他にもいろいろな役割があるでしょうから、よりよく分担していきましょう。ご相談を受けつけますのでお気軽にご連絡ください。松任小学校 076-276-1261（加藤👧）

さらに奥へと進んでいくと、左手には溪流、右手には「わぁ〜、すご〜い❤️！👧👧」……河内のダムでは見ることでできなかった放流のような迫力のシーン！あまりに一瞬だったので、砂防科学館※から戻ってくる際に、「運転手さ〜ん、橋の上、ゆっくりめでお願ひしま〜す！👧」、「お願ひしま〜す❤️！👧👧」、「は〜い👧🚗」……後続車もなく、徒歩なみに低速走行してくださり、みんなバッチリ見ることができました❤️！ありがとうございました🌟

※時間的制約のため、今回の見学では砂防科学館という**施設がある場所を紹介しただけで、入館はしていません。**📍の前で引き返してきました。（おかげで、放流をゆっくり見ることができました！）学びの多い施設ですので、ぜひ、夏休みにどうぞ！

「🐻に気をつけて行ってきてください！🚗で待ってます！」と優しい運転手さんに見送られ、白峰の街並み散策開始！すぐの建物の前でじい〜っ👧……「あっ、雪だるま👧！👧」、「長いハシゴ……👧」と早くも白峰らしさに反応しています♪「やるなあ〜👧」、「はい、やりますっ！👧👧」、「なんで👧があるの？ハシゴがあるの？👧」、「さあ〜？👧」、「👧をつけるためにハシゴがある！👧」👧

その後、あちこちの家にハシゴがあることを発見し、また、玄関が道路よりも一段高いところにあたり壁や窓が板で防護してあったりする造りを見て、雪深い地域の暮らしの工夫を学びました。雪だるまの街灯の数を数えたり、全部が同じ形や表情ではないことも見つけていました🌟 白山から吹き降ろす強い風に「屋根が飛ばされ、やーね〜」にならないよう、屋根に石を乗せている様子も見学しました。白峰小学校の子どもたちが作ったポスター『それくらいが、ちょうどいい。』について、自分たちが住む松任地区と比較して「ぜんっぜんちがうっ！👧👧」と驚いていました😊 帰り道は居眠りすることなくトンネル＆スノーシェッドの数を数えていました。**松任 ↔ 白峰 いくつだと思います？正解はお子さん迄😊**

（豪雪地帯の暮らしの工夫・ハシゴ・流雪溝（ミンジャ）・屋根の石・保存食・とちもち・堅豆腐・手取川ダム・山岸家・蚕・民俗資料館・砂防科学館・恐竜パーク・百万貫の岩・白山👧）



ここまで読んでくださって、本当にありがとうございます。お子さんのお土産話と重複したかもしれませんが、見学（順序や場所など）にまつわる意図や活動の様子等が伝わるものになっていましたでしょうか。

さて、先週末に、お子さんが持ち帰った（はず）グリーンの紙ファイルをご覧になった（はず）かと思います。中身は、上から【③白峰見学新聞】、【②手取川・ダム見学新聞】、【①徳光海岸見学新聞】、【授業参観で使用した見学リスト】、【見学新聞用紙２枚（夏休み用）】でした。お子さんが書いた新聞、なかなかの力作だったのではないのでしょうか。もらえるものならばもらいたい、ステキな作品ばかりでした。嬉しいことに、ご家族で白峰に行ってきた！ダムを見に行ってきた！という報告がすでに何件も入っています。雪だるまカフェのダムカレーは事前予約だそうですよ😊

そして、今週末ファイルを持ち帰りました。**このおたよりを読まれた後、今一度、お子さんが書かれた見学新聞の絵や見出し、記事に目を通してみてください。**最初に目にしたときとは一味ちがう味わい（学びや成長の跡）が感じられるかもしれませんよ♪そんなと見てたんや、そんなふうに感じてたんや、そんなとこに連れていきたいんや……と🌟

「今後の活動につながるサポートをお願いできればと考えています。」と冒頭に書きました。この１学期は、ざっくりとではありますが**【ふるさと白山市】への関心を高める**ために活動してきました。みんなそれぞれに**関心は高まりましたが、関心の向いている先がひとりひとりそれぞれ**です。**学校ではざっくりと味見**をしてもらいましたので、ご家庭ではお子さんの関心に応じて、この**夏休みを利用してあちこち白山市を味わっていただけたら**と考えています。普段は平日がお休みで、土日にはなかなか連れて行くことができない……という方も夏休み中なら動きやすいかと思います。**特別でなくていいんです。親子で一緒にどっか行っただけ、それが白山市だった**……でいいんです😊『特別（価値）』は、後になってお子さんのほうでつけ足してくれるものです♪結果、お気に入りになった！また来たい！連れて行きたい！って😊

私も立場上、自分たちが生活している【ふるさと白山市】への関心が高まり、よさ（善し悪し）に触れ、味わい、考え、語れるようになったらいいな……と思いがちですけど、そんなのも後になって子どもたちのほうでつけ足してくれるものだ♪と本音では感じています。そのためにも、**『教える』のではなく『子どもたちが自ら感じとる（得）』場、『感じとれる』ような場**を設けることが必要……ということで、後はお任せしました😊！２学期にはしっかりと引き継ぎますのでよろしくお願いします😊

では、よい夏休みを〜！

👉百万貫の岩

👉桜満開、天抱橋！

👉松任駅立体駐車場壁上

👉鶴来地区の麦畑



夏休み中の活動について、リポートしてくださる方（親子👧👧）はコチラ👉

👉コチラは、授業参観時の保護者アンケート【各ご家庭（名前は載せてありません）のオススメ】になります。（現在準備中）



オススメ！



夏のレポート